

## 環境福祉経済委員会市内視察報告書

市内視察における調査結果について、下記のとおり報告します。

平成28年12月28日

光市議会議長 中村賢道様

光市環境福祉経済委員会

委員長 森戸 芳史

副委員長 萬谷 竹彦

委員 磯部 登志恵（副議長）

委員 大田 敏司

委員 岸本 隆雄

委員 木村 信秀

委員 笹井 琢

委員 西村 憲治

随 行 高木真由美（事務局）

記

- 1 研修年月日 平成28年12月13日（火）15時30分～15時50分
- 2 視 察 先 農道室積線災害復旧工事箇所
- 3 調査結果等 別紙のとおり（資料含む）

# 環境福祉経済委員会市内視察調査結果

## ○農道 室積線 災害復旧工事箇所

1 日時 平成 28 年 12 月 13 日 (火) 15 : 30 ~ 15 : 50

### 2 調査事項

災害復旧工事箇所の現地確認について

### 3 内容

本年 6 月の豪雨により、現在、通行止めになっている、農道室積線の災害復旧工事箇所の現地視察をしました。

本箇所は、本年 6 月 22 ~ 23 日の豪雨が誘因となり、農道の東側法面にて地すべりが発生し、土塊がすべり落ち、擁壁をなぎ倒し、農道を閉塞したものです。

なお、本災害復旧工事は、国の補助金交付により実施することとなり、12 月議会の議案として、一般会計補正予算に計上され、同月 22 日に、全会一致で可決しております。

#### 《工事概要》

- |            |  |
|------------|--|
| (1) 路線名    | 農道 室積線                                   |
| (2) 被災場所   | 光市大字室積村 2053-3 付近                        |
| (3) 被災年月日  | 平成 28 年 6 月 23 日 (木)                     |
| (4) 被災延長   | L = 51 m (道路法面の被災)                       |
| (5) 事業費    | 100,000 千円                               |
| (6) 地すべり規模 | 幅 : 27 m<br>推定移動土塊量 : 986 m <sup>3</sup> |





## <委員所感>

### 所 感 (森戸 芳史)

12月議会で1億円の事業費が補正予算として計上され、審議中の農道室積線の現場調査を行いました。

広島で死者を出した災害が記憶に新しいが、山口県も広島同様に花崗岩地盤が多く、近年のゲリラ的集中豪雨増加で災害発生リスクが高まっている。

歩行者や車がいなかったのは幸いだが、委員会としても進捗状況のチェックと早期復旧を働きかけていきたい。

この機会に他の危険箇所も点検を要請したい。

### 所 感 (萬谷 竹彦)

農道室積線 災害復旧事業が行われる現地の視察に行き、改めて自然の力のすさまじさを感じました。

農道の東側法面にて地滑りが発生し、土塊が移動したことにより擁壁をなぎ倒し、農道が通行できなくなったもので、今回、復旧事業費 100,000 千円をかけて事業が行われるものです。

何度か、晴れの日はこの現場には来たことはありましたが、今回の視察は雨天時であり、少し怖く、自然の力の前では、人間は無力なんだと感じざるを得ませんでした。

人的被害がなかったことが、せめてもの救いであり、また、常日頃からの注意、確認、避難訓練の必要性も感じた視察になりました。

### 所 感 (磯部 登志恵)

梅雨時期の豪雨により被災した農道室積線の状況を確認したが、被災原因、今後の対策工法など、現場での説明は非常に有意義であった。

昼間の地滑りと聞いたが、人命への被害がなく安堵した。危険が伴う状況であるため、復旧工事は約8ヶ月を要するとのことであった。

地元の皆様の為にも一日も早い復旧が急がれるが、二次災害が起こらないようしっかりとした対策に期待したい。

### 所 感 (大田 敏司)

去る12月13日 農道室積線の土砂崩れで交通止めの現場に行きました。

土砂災害というものが、いかに危険であること、それから続く災害の大きさ、怖さを実感できました。

地盤の確認もさることながら、設計や工事の確実さも大切だと改めて気づかされました。

住民の為に一刻も早く復旧をしてもらいたいものだと、感じました。

### 所 感 (岸本 隆雄)

視察した現場は、思った以上に大規模な急傾斜地の崩壊でした。

崩壊時に人、車の通行がなかったのが不幸中の幸いだったと思います。

一日も早い復旧を望みます。

光市に七百二十三ヶ所の土砂災害特別警戒区域が山口県より指定されています。

市民の安全、安心確保のため、関係各課の監視態勢を望みます。また、危険度の高い区域の工事を望みます。

### 所 感 (木村 信秀)

農道室積線災害復旧事業について、去る本年6月22(水)～23日(木)に連続雨量142mmの大量の豪雨により被災した現地を視察し、農道の東側法面においての地すべりの様子を目の当たりにした。山頂より土塊が移動したことにより擁壁をなぎ倒し、農道を閉鎖し、この地区の生活道であるにも関わらず、長期にわたり不便を余儀なくされている方々に、心よりのお見舞いを申し上げると共に、一刻も早い回復を願わざるを禁じ得ない。

この度の平成28年度一般会計補正予算(第四号)において災害復旧費国庫補助金として、約6800万円の予算措置がなされ、災害復旧債として市債約3300万円の手当が出来たことは喜ばしい限りである。

この事業が早期に着工され、地域の方々の生活及び経済活動が再開されるよう今後とも見守っていききたい。

### 所 感 (笹井 琢)

岩屋地区に通じる5本の道路のうち、最大で3本が不通となる災害であった。

被災後にも、道路復旧のスケジュールがなかなか示されず、地区の方は心配されていた。

現在は5本の道路のうち4本が通行可能となっているが、同地区へつながる国道188号は越波をうけることが多い。

越波の影響を受けない本農道の早急な復旧が必要である。

### 所 感 (西村 憲治)

現地を拝見しました。百聞は一見になんとやら。

一刻も早い復旧を希望します。